

事業者向け

児童発達支援自己評価

こども発達支援センターおりーぶ

記入年月日:令和 6年 3月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		指導訓練室と遊戯室を、子どもの特性を踏まえ構造化する等で対応を行っている。利用人数によって活動内容を変えたり、必要時には机や物品を移動する等、スペースを有効に誓えるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		職員の配置数は適切である。日々の支援での工夫点など多職種連携を心がけ、適宜情報共有し支援を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		視覚的に伝わりやすいように構造化し、所持品を片付けるカゴのマークの位置や活動カードの絵をわかりやすくする等、適宜改善している。又、バリアフリーになっており、転倒しないよう無駄な物品は置いていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		医療的ケア児が多いため、他児の活動する空間と分けて安全面にも配慮し、支援を行っている。椅子、机等の点検を行ったり、支援終了後の室内の掃除や消毒、シーツ等の洗濯を毎日行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		日々の業務を効率良くできる方法をそれぞれで提案して話し合い、実行し、振り返りをして、日々改善しようと努めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		保護者様からの意見を取り入れ、その都度下記前に勤めている。昨年度、ドックセラピーを午後も実施してほしいと意見を頂いたため、今年度から月ごとに午前の部、午後の部と交互に行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		評価表については、ホームページにて公開している。日頃から保護者様等の関わりを深めてお子さんや保護者様への支援を活かせるようにみんなで意見を出し合い、検討している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		年に一回、市と県の監査を受けている。又、音楽療法の先生やドックセラピーのセラピストの方々より意見を頂気改善をしている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		毎年、社内研修や社外研修に参加し、スキルアップをしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		対象児のアセスメントを行う中で、保護者様から情報を聞き取り、現在の姿を客観的に捉え、成長共に必要な視点でのアセスメント項目を追加し、計画書に落とし込んでいる。日々の支援はその内容に沿って実施している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		社内アセスメントツールを活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		職員間で児童発達支援ガイドラインの内容を確認しながら、日々の支援について共通理解を図っている。支援内容については個別支援計画書に落とし込み個々に合わせて設定できている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		日々ケース記録を書く際、計画書に沿った支援が行われたか確認しながら記録し、適宜見直し支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		個々の特性を踏まえながら、個別や集団療育を行なっている。利用者のメンバーによって活動を再検討する等、チームで行なっている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		曜日によっては、固定しているものもあるが、プログラムを変えて様々な経験ができるよう配慮したり、同じことを繰り返して行なっていく中で自信に繋げることができるように考えている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		個別・集団療育と計画に沿って実施している。又活動のバリエーションを増やししながら、楽しく参加し、成功体験を積めるように工夫している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		職員の動きをホワイトボードに記し、共有したり、保護者対応の際の連絡事項等を伝達し確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		支援終了後に職員ミーティングを実施し、子どもの成長や気持ちが不安定だった時の様子等の情報を共有したり、対応がうまくいかなかった時の改善点を検討し、次に繋げている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		毎日必ず利用者全員分の支援経過記録を取り、振り返りを行ったり、今後の支援に活かすことを実施している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		3～6ヶ月の間で発達段階に応じてモニタリングしている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	児童発達支援管理者やセンター長が参加しているが、担当者会の前に必ず職員会議を行い、職員全員分の考えをまとめている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	保健センター、子育て世代包括支援センター、対象児の訪問看護、医師、OTなどの専門職、事業所内の看護師と連携し支援を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	医療機関や保健センター、事業所内の看護師と、対象児の訪問看護師、医師、OTなどの専門職と連携し支援を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	委託医や主治医、その他協力機関と連携し支援を行っている。てんかん等、緊急時の対応について医師の指示書のコピーをもらっている。訪問診療や訪問看護については、報告書等書面にて情報共有している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	江南市の委託事業(地域児童サポート)と連携し、支援体制の強化を図っている。また、保護者に許可を得たうえで保育園・幼稚園と電話や訪問し情報共有(園での様子、センターでの様子)をしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	センター内にある保育所等訪問支援や委託相談で連携を図っている。利用者の保護者を通して早期教育相談など利用しながら支援内容や特性について情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	障害児等療育支援事業を実施しているため、愛知県の医療療育総合センターからの助言や研修等を受けている。また、他市町に関しても児童発達支援センターとしての情報共有を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	感染症の拡大等を鑑み、近隣の保育園の園庭開放等に行く予定となっている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	子ども部会の会長として参加している。協議会の本会には子ども部会委員長として参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡帳を活用し、センターでの様子や体調など保護者と共有している。保護者の送迎時には、出来たことや難しかったことなどその都度伝え、情報共有している。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	6回を1クールとし、年間3クール希望者にペアレントトレーニングを実施している。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約の際に、丁寧に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	児童発達支援ガイドラインを共有した上で、保護者と相談し計画づくりに活かしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	モニタリング含め、必要であれば事業所内相談支援加算で対応し、保護者面談を行なっている。また、緊急時な相談もお受けし助言している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	ペアレントトレーニングの際に保護者同士の交流や連携をする機会作りをしている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	センター長をはじめ、児童発達支援管理者をはじめ。相談員、看護師、保育士も交えながら対応している。相談しやすい体制づくりを行っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月、赤童子便りを発行し、活動での子どもたちの様子や連絡事項等、情報発信を行なっている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	利用者の個人情報を記入した場合、情報共有後シュレッダーにかけることや、フルネームでの記載は避けている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	個別性に合わせて理解しやすい短い言葉で対応したり、絵カード、図などの目で見てわかるように工夫している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	行政機関や同業者、市内の公立保育園等の担当者が見学がある。おりおり祭を年に1度開催している。(インフルエンザ流行のため今年度はなかった。)

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	日常的に緊急時を想定した取り組みを実施している。感染症にまつわる会議は三ヶ月に一度行なっている。(看護師主体で)
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	定期的に非常災害時も避難訓練を行なっている。毎月紙芝居、カード等用意して子ども達に伝え、移動の仕方など職員と一緒に訓練している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	てんかん発作について、具体的に書面に記載してもらったり、医師の指示書をもらい職員全体で把握している。服薬は全て同意書を頂いている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	保育所に提出している健康診断等の提示をお願いしている。アレルギー有無の一覧を作成したり、給食提供時に利用者ごとのカードを添えたりしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハットがあった時は、迅速に事例を作成し、会議を行い研修にて事業所内で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	社内研修で共有し、虐待につながる恐れのあることはないか職員で会議をし、未然に防いだり、別の対応はないかと考え対応している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束に当たるかどうか会議をしたり、行う際には必ず保護者に説明をし、同意書を頂いた上で実施している。職員間で共通理解を図っている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。